

(別紙4(2))

事業所名 ハートヴィレッジ老松

目標達成計画

作成日: 平成 26年 12月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	施錠を最小限にすべく、見守り体制の強化やセンサー等の福祉用具の補助も検討する等して、とりわけ日中帯の施錠について改善すべく、工夫に向けた取り組みに期待したい。	安全のために玄関の施錠は従来通り(中からタッチすれば開錠できる)とするが、2階3階の扉は夜間など職員が手薄になる時間帯以外は施錠しないようにする。	職員が二人同時に介護に入らず、リビングに一人はいるようにする。職員同士で声を掛け合い、扉付近の見守りを行う。入居者の様子を申し送り、情報を共有する。外に出たい方には職員が寄り添い、散歩などをする。家族にも伝え、一緒に外出をしてもらう。扉にドアベルをつけ、開閉を把握する。	3ヶ月
2					
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。